平成２５年度 第２回 国立大学法人北海道大学経営協議会議事要旨

日　時　　平成２５年9月２６日（木）１３：１５～１４：５０
場　所　　事務局 第一会議室Ａ
出席者　　１８名
（学内）　山口総長，三上，上田，新田，安田，鋳山，村田，吉見，嵯峨，寳金，宇山各委員
（学外）　毛塚，近藤，數土，林，平山，増山，松谷　各委員
欠席者　　６名
（学内）　川端委員
（学外）　高井，野田，山崎，山本，横山　各委員

議　　事

議事に先立ち，平成２５年６月１２日の平成２５年度第１回経営協議会の議事要旨について確認を行った。

【 議　題 】

１　現代日本学プログラム課程に受け入れる外国人留学生に係る検定料について
上田理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

２　規程の改正について
村田理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

【 報告事項等 】

１　大型プロジェクトの進捗状況等の報告について
上田理事から，資料に基づき「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」，「先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム」，「最先端研究開発支援プログラム」の進捗状況等，並びに「北海道大学オープンイノベーションプラットフォーム構想」について報告があった。
なお，委員から，「最先端研究開発支援プログラム」については，平成２６年３月に終了することから，同プログラムの後継プロジェクトの獲得へと繋がるよう，陽子線治療センターの開所式等を通じて積極的にアピールすることが良いと思われる旨発言があった。
次いで，委員から文部科学省の「研究大学強化促進事業」について，採択された大学のなかで本学の年間助成額が最も低い区分となった原因について質問があり，総長から，同事業に係るヒアリング時に，リサーチ・アドミニストレーターの位置づけについて相互の理解に行き違いがあったことが原因であると思われる旨回答があった。これに対し，委員から，審査委員会の審査結果を受けて最終的な採否を決定する文部科学省に，ヒアリング時の理解の行き違いを説明するなどの対応が必要だったのではないかとの発言があった。
また，委員から，産学官で推進する「フード＆メディカルイノベーション国際拠点」整備事業については，将来的に我が国のフードサイエンスに係る拠点の形成を目指して

いるものであることから，①昨年度の「国際科学イノベーション拠点整備事業」への採択に続き，現在行われているＣＯＩ（センター・オブ・イノベーション）拠点の構築に係る公募においても採択を受けることはもちろんであるが，上限額に近い助成金を獲得できるよう努力願いたいこと，②実際の拠点の構築・運営に際しては，オランダのフードバレーなどの成功例を参考としつつ産学官で十分な意思疎通を図りながら進めることとし，その連携の在り方や手続を明確にしたうえで本協議会に報告願いたい旨発言があった。

２　職員の給与の減額支給について
　村田理事から，資料に基づき報告があった。

３　平成２６年度概算要求について
　村田理事から，資料に基づき報告があった。
　なお，委員から，教育面における北大の特長である多様性や持続性を持った人材の育成に関する取組についても強く打ち出すべきではないかとの発言があったことに対し，村田理事から，概算要求においては本学の教育面での強みも説明しており，特に新渡戸カレッジなどは文部科学省からも高い評価を受けている旨発言があった。
　また，委員から，今後１０年間で世界大学ランキングトップ１００に我が国の大学が１０校以上入ることを目指すという国の方針を踏まえ，来年度から国公私立大学を対象とした「スーパーグローバル大学事業」が予定されている状況を捉えて，北海道大学としても１００位以内を目指す意思を持ち，従来の国内序列意識等固定概念にとらわれることなく全学的に明確な目標設定を行い具体的に取り組む必要があること，また，目標を達成するための取組については本協議会にも報告願いたい旨発言があった。

【 その他 】

１　平成２５年度人事院給与勧告について
　村田理事から，資料に基づき説明があり，月例給及び期末・勤勉手当の改定は行われないが，昇給の回復や給与制度の見直し等については，今後，国の実施内容が明らかになってくるものと思われる旨報告があった。
　次いで，総長から，本学の職員の給与については，今後の国及び社会全体の動向を見極めた上で社会情勢に適合したものとなるよう適切に対処することとし，具体的な対応については，総長に一任いただきたい旨発議があり，審議の結果了承された。

２　環境報告書２０１３について
　三上理事から，資料に基づき説明があった。
　なお，委員から，構内における「ジンパ」に係る対応について説明いただきたい旨発言があり，三上理事から，現在，学生も含めて新たなルール作りに係る検討を進めており，結論が得られ次第，ホームページ等を通じて周知予定である旨発言があった。
　また，委員から，北海道大学の魅力をアピールするため，植物園の新しい活用方法についても検討いただきたい旨発言があった。

３　財務レポート２０１３について
　村田理事から，資料に基づき説明があった。

（　以　上　）